学校番号	1006

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「古典Ｂ　古文編」「古典Ｂ　漢文編」（大修館書店）						
副教材等	「新演習古典アチーブ３三訂版」（桐原書店）、「新修古典文法」（京都書房）、「漢文必携」（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を身に付けてほしい。
・そのため、高校生が身につけるべき教養として必要な古典作品にふれ、豊かな言語文化について学ぶことを楽しいと感じ、主体的に取り組める授業を工夫する。

２　学習の到達目標

・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
・古典を読解、理解するための基本的な古典文法や漢文句法をしっかりと身に付けさせ、卒業後も古典を紐解くことのできる力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
一学期(中間)	随筆	『枕草子』 「上にさぶらふ御猫は」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	文章	「春夜宴桃李園序」	○	◎	○	a:情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d:情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
一学期(期末)	日記	『蜻蛉日記』 「町の小路の女」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	史伝	『史記』 「荊軻」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
二学期(中間)	日記	『和泉式部日記』 「薫る香に」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	思想	『老子』 「大道廃、有仁義」 「小国寡民」	○	◎	○	a:論理の展開や比喩の意味などを正しく理解し、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d: 論理の展開や比喩の意味などを正しく理解し、文章の筋道を的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
二学期（期末）	評論	『笈の小文』 「造化にしたがひ造化にかへれ」 『三冊子』「不易と変化」 『去来抄』「行く春を」 『難波土産』 「虚実皮膜の論」 『玉勝間』 「師の説になづまざること」	○	◎	○	a:論理の展開や比喩の意味などを正しく理解し、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d: 論理の展開や比喩の意味などを正しく理解し、文章の筋道を的確に捉えている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
三学期	物語	『西鶴諸国ばなし』 「大晦日は合はぬ算用」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	思想	『墨子』「兼相愛」 『韓非子』「母之愛子也」	○	◎	○	a:論理の展開や比喩の意味などを正しく理解し、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d: 論理の展開や比喩の意味などを正しく理解し、文章の筋道を的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。